和歌山工業高等専門学校 開講年度 令和06年度 (2024年度) ― 授業科目 地域と文化A													
科目基礎的	青報												
科目番号 0098						科目区分	-	一般 / 選択					
授業形態 授業						単位の種別と単位		履修単位: 1					
開設学科環境都市工			 ·学科			対象学年		5					
開設期後期							週時間数		2				
教科書/教材 配布プリン									-				
担当教員			﨑 有里約										
到達目標													
	B ⊞ マ ≠ . + + -	+ +-	ト/45 =4 2 ナ. ロ	14151	++ 41-14 -	ヒポロナのサルにぬけ	。 甘土如恵任め	#+ /# <i>+</i> -= ₩		ニナンフ			
1. 国際的が 2. 日本の地	見到を持つ 地域文化の	バこか)特役	がい 自を日	章	うためには、a 具体例をあげて	Fず日本の文化に触れ 基本的な説明ができ	て、基本的事例で きる。	付似で武	明じさるよ	.フなる。			
ルーブリック													
				理想的な到達レベルの目安標			標準的な到達レイ	レベルの目安 未到達レベルの目安					
							日本の文化について、基本的事柄		日本の文化について、基本的事柄				
評価項目1			や特徴を深く説明できる			や特徴を説明できる			や特徴を説明できない				
評価項目2				日本の地域文化の特徴について、			日本の地域文化の特徴について、			日本の地域文化の特徴について、			
							具体例をあげて記	説明でき	వ 	具体例をあげて説明できない			
学科の到達	主目標項	<u>目</u>	との関係	Ŕ									
A													
JABEE A	- /-												
教育方法等		٦.				N							
				D資料を使用しながら、当時の社会の特徴を理解する。現代社会と比較検討することを目指す。									
授業の進めた	ラ・方法	_ <u> </u> #1	布ブリン	1	と資料、視聴覚教材を用いた授業をおこなう								
注意点													
授業の属性	生・履修	上(<u> </u>										
□ アクティブラーニング□ ICT 利用□ 遠隔授業対応□ 実務経験のある教員による対											員による授業		
授業計画													
		週	授業内容					週ごとの到達目標					
	3rdQ	1週	. 🗏	日本の歴史概観					授業内容を理解できる				
		2週	. 古	古文書の基礎				授業内容を理解できる					
		3週	. 絵	絵図から知る江戸時代の政治					授業内容を理解できる				
3		4週	. 浮	世紀	会から知る江戸	■時代の文化		授業内容を理解できる					
		5週	文	文書から知る江戸時代の政治				授業内容を理解できる					
		6週	和	本た	本から知る江戸時代の文化			授業内容を理解できる					
		7週	高	扎た	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー			授業内容を理解できる					
		8週	紅	紀伊国名所図会を読もうー御坊編				授業内容を理解できる					
後期		9週	紅	伊国名所図会を読もうー御坊編				授業内容を理解できる					
		10ì		伊国名所図会を読もうー御坊編			授業内容を理解できる						
		11ì	1週 紀		伊国名所図会を読もうー和歌山編			授業内容を理解できる					
.	+h-C	12ì	2週 紀		伊国名所図会を読もうー和歌山編			授業内容を理解できる					
4	thQ	13ì	.3週 紀		伊国名所図会を読もうー高野山編			授業内容を理解できる					
		14ì	.4週 紀		伊国名所図会を読もうー高野山編			授業内容を理解できる					
		15ì	5週 試		験返却・解説			授業内容を理解できる					
	1		<u>周</u>										
モデルコス	アカリキ	<u>-</u> д-	ラムの学	学習内容と到達目標									
分類 分野				学習内容が学習内容の到達目標							到達レベル	授業週	
			7321		地理歴史的	民族、宗教、生活文		解し、異	なる文化・	社会が共		後1,後2,後	
					分野	存することの重要性について考察できる。					3	9 ′ ′	
=	人文,社会					II 仏社会の性所やii	明明ナフ流和	IDか主題を記字させ :		次业无江		後3,後4,後	
基礎的能力	人文・社 科学	-4	社会		現代社会の	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、 用して探究し、その成果を論述したり討論したりするな			どの活動	5,後6,後 7,後8,後 4			
					考察	を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な について人文・社会科学の観点から展望できる。		続可能な社	会の実現	10,後11,後 12,後13,後			
								చం			12,1を13,1を 14		
評価割合													
h 1mm (2) F-1							発表・課題・提出物						
総合評価割合									100				
配点				[/U			3U		±00	100			